

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

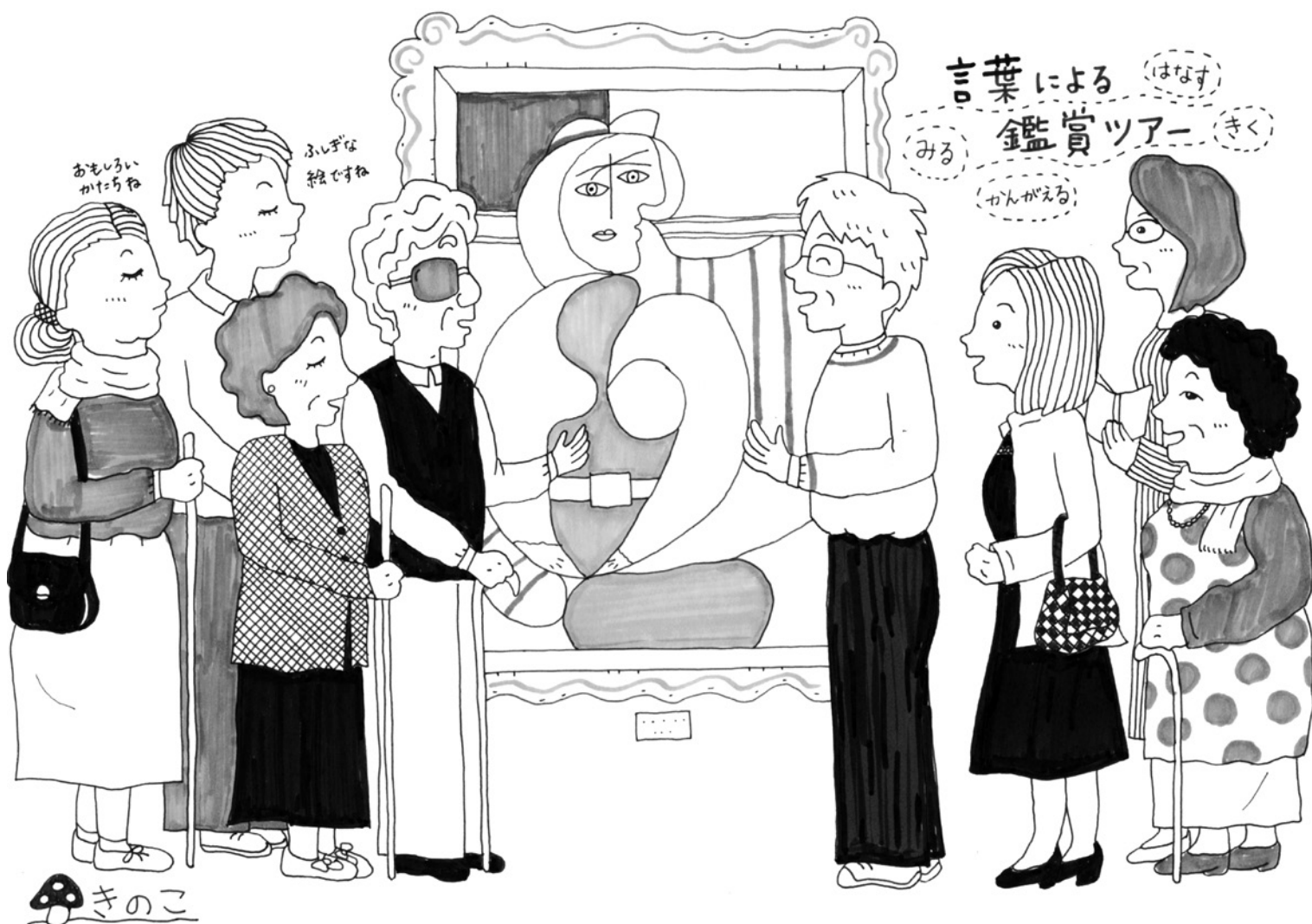
2016
vol.233

毎月1日発行

10月号

杜の伝言板 ゆるる

月刊



- アートに出会うこと = アート・ミーツ 活動の原点は楽しさ、それを引き出す出会い体験

泉田 文陽(認定NPO法人ばぎーる太白社会事業センター)

- ジュニアリーダーの活躍 ～9.11「杜の子まつりin石巻」から～

斎藤 純子(NPO法人せんだい杜の子ども劇場)

- 放課後、自分を表現しようー絵を描いたり、粘土で形を作ったりー

NPO法人ぞうさんの家

みやぎNPOプラザからのお知らせ

市民活動・NPOにまつわる相談は、みやぎNPOプラザにおまかせ!

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



アートに出会うこと = アート・ミーツ

活動の原点は楽しさ、それを引き出す出会い体験

寄稿



泉田 文陽

認定NPO法人ばざーる太白社会事業センター
(略称:ビートスイッチ) 副代表理事

ひとは、「アート」によって心地よさや感動が得られ、喜びや幸福感に包まれた時を過ごすことも可能となります。このような作用を療法として取り入れている医療や介護の現場事例もたくさんあります。

「アート」に出会うことで人は内面から人生の豊かさを広げることができるのではないのでしょうか。何人もこの喜びに出会い楽しむことに、社会的なバリアがあってもならないと思います。

●●●●● ビートスイッチ 鑑賞ツアーの原点

二〇一〇年六月から開始した、視覚障がい者のための美術鑑賞の検討会で企画を進め実行するため協議を進めていた折、個人的に出席したアートミーツケア学会仙台大会(二〇一〇年十二月開催)の分科会で、「見る」ことを超えて」と題し、日野陽子先生(アートミーツケア学会理事)、光島貴之さん(美術家、鍼灸師)、阿部こずえさん(ミュージアム・アクセス・ビュー代表)の講演に参加することが出来ました。この時、視覚に障がいのある方と一緒に平面的鑑賞を体験し、「言葉による鑑賞

ツアー」を知ることになりました。この「言葉による鑑賞ツアー」は、二〇〇二年より関西で活動しているミュージアム・アクセス・ビュー(京都の団体)が行っているもので、アメリカ・アレナスの対話による鑑賞法を参考に、目の見えない人、見えにくい人とともに気軽にアートを楽しむというコンセプトで、「言葉による鑑賞ツアー」と「創作ワークショップ」を主な活動として年数回開催されていました。

●●● 初めての鑑賞ツアー

そこで、翌年二〇一一年二月にはミュージアム・アクセス・ビューのある京都を訪ね、仙台で



▶ 第一回フェルメール展

活動を始めたいとご挨拶に伺い快諾していただきました。その後、二カ月に一度の検討会は東日本大震災で一時中断を余儀なくされましたが、二〇一一年六月に再開し、その時から「アート・ミーツ」を部会名として準備を進めました。そして、二〇一一年十一月に初めての鑑賞ツアーを開催することができました。

アート・ミーツ部会で開催する鑑賞ツアーでは、視覚に障がいのある人と晴眼者がグループとなり、絵画などの作品について自分の言葉で語り合いながら共に楽しむこと、その後、いっしょに食事をしながら感想などを聞くことが活動の主体となります。



◀ 第八回佐藤忠良展

▲美術館内レストランーク



第一回鑑賞ツアーは、二〇一一年十一月、宮城県美術館で開催された「フェルメールからのラブレター展」の鑑賞ツアーでした。参加者は、見えにくい人三名、見える人四名で、二時間かけて絵画を鑑賞。終了後は、美術館内レストランでランチを食べながら一時間ほど感想を話し、楽しい気分でした。

●●●鑑賞は難しい？

でも、「自分の話していることはこれでいいのだろうか？」や、

「美術の専門的な知識を持っていないのに、説明できるのだろうか？勝手に話してもよいのだろうか？」また、「何を話せばよいのか分らない」等々の疑問が出るでしょう。視覚に障がいのある人にとって、「絵の説明を受けても本当ではないのだから、手触りでの実感を得たいと思う」「説明者は伝えようと懸命になり、くどくなってしまうても、へもう結構です」とは言えない不自由さが生じる」等の不満もあるでしょう。

視覚に障がいのある人は見えなからと、美術鑑賞を諦めてしまいがちです。一方、晴眼者はどうしても、「見えているからには正確に話さなければならぬ」という使命感を負ってしまう方もいらっしゃるやいます。でも、美術を楽しむために、作品の正しい見方などは元々無いのです。すべての枠を取り払って出会いを楽しんでみてください。

●●●鑑賞ツアー、4つの要素

視覚に障がいを持つ方と一緒にアートを鑑賞するアクティビティでは、従来の触れることで感じ取る方法とは違い、次の要素が育まれると考えています。

要素	内容	対象者
「みる」	直感を大切にしながら、まず作品をじっくり見る	→晴眼者の視点から
「かんがえる」	なぜ自分がそう思ったのかについて内省する	→晴眼者による言語
	聞いた内容を自分はどう感じているか	→見えない、見えにくい人の言葉による表現
「はなす」	自らの中に湧き上がった思いや疑問を言葉にあらわす	→対話の成立
「きく」	他の鑑賞者の声にきちんと耳を傾ける	→見えない、見えにくい人、晴眼者、共



▶石巻アート展

鑑賞ツアーは視覚に障がいのある人と晴眼者が少人数のグループに分かれて会場内を巡ります。同じ作品なのに、そこにはグループ毎に異なる会話が展開していきまます。居合わせた人の感性によって生まれた対話を通しての鑑賞だからです。そして、そのグループ独自の鑑賞がまさに「アートする」活動なのであり、楽しさの原点となっています。

アートとの出会いは、それぞれの心の中の栄養や勇気となる、豊かな「出会い体験」として記憶の壺に残っていくことが願われます。

認定NPO法人ばざーる太白社会事業センター (ビートスイッチ)

〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-7-15
サニービル1002号 社会福祉士 斎藤 茂事務所内
●TEL : 022-292-7160
●FAX : 022-292-7162
●E-mail : btswc.webmail@gmail.com
●URL : <http://npobtswc.p2.bindsite.jp/main/>

ジュニアリーダーの活躍

～9.11「杜の子まつりin石巻」から～

寄稿



齋藤 純子

NPO法人せんだい杜の子ども劇場
代表理事

東日本大震災発災から毎年行ってきた「杜の子まつり」、このまつりにはジュニアリーダーの存在が欠かせません。先日開催した「杜の子まつりin石巻」でも石巻市・東松島市・仙台市内のジュニアリーダー二十名が大活躍しました。

ジュニアリーダーを ご存じですか

まず、「ジュニアリーダー」は、子ども会を活性化することを中心に地域活動を行う青少年たちで全国的に存在します。宮城県内では、各教育委員会の支援を受け中学生と高校生を中心にサークルをつくり、公民館や市民センターを拠点として活動しています。一人ひとりがユニークなキャンプをもっているのも面白いのです。東日本大震災の被災により活



▶石巻・仙台のジュニアリーダーが勢ぞろい

動を休止しているジュニアリーダーやサークルもありますが、活動している中高生たちの熱い思いや行動は、子どもたちにとって欠かせない存在であることは間違いありません！

ジュニアの思い&そしてつなぐ

「杜の子まつり」にジュニアリーダーが関わったきっかけをお話します。大震災後の宮城県内ジュニアリーダー研修会の折、石巻市ジュニアリーダーサークル「げろっば」による避難所での「ひろば活動」報告とジュニアリーダー自身の被災体験を聞いた仙台市内のジュニアリーダーたちが、「自分たちも手伝いたい、行動したい」と思いを馳せたことに始まります。彼らの思いを当時の仙台市中央市民センター長より伺ったことがきっかけとなり、彼らの参画を基本とした異年齢の子どもたちが交流できる被災者支援を行うこととなりました。ジュニアリーダーの思いと彼らを支える仙台&石巻の教育行政側、そして県内外のNPOが繋がって始めたのが「杜の子まつり」で、現在は石巻&仙台の二ヶ所で継続しています。

「杜の子まつり」での活躍

当日は朝から会場準備とスキルアップ研修があります。まず、大人や学生ボランティアと一緒に広い会場全体にシートを敷き詰め、体験ブース毎の机や椅子をセッティング、物品の搬入、おもちゃの仕分けまでを手がけます。その後、ジュニアリーダー全員がスキルアップのための研修を受けながらコミュニケーションを深めていきます。短時間の中でも、実に柔軟に動き回りますよ！

まつりは、おもちゃのリユースが基本の「かえっこばさー」と芸術鑑賞の二本立てですが、今回ジュニアリーダーは「ジュニアリーダーと遊ぼう」と仙台ジュニア名物「もぐらたたき」のブースを担当しました。体育館の一角をフルに使って遊ぶコーナーの内容は、午前中に石巻&東松島&仙台のメンバー全員で考えます。（仙台からのジュニアリーダーたちは移動中のバスでも考えを巡らしています）昼食を一緒に取りながら、話し合いもトントんと進んでいくあたり、大人は見習うこと大です。さあ本番、子どもたちを自分たちのブースに呼び込むのが実に上手い！「もぐらたたき」は制限時間

▲仙台ジュニアリーダー名物！
もぐらたたきに挑戦



を替え歌で、もぐらの上下動作もジュニアリーダーが担います。大声で歌う替え歌とその様子を見て、順番を待つ子どもたちの列は途絶えませんでした。日頃から子ども会でも子どもたちと接している経験は場所が変わっても活きて、彼らの声と動きは子どもたちの元気を誘う力を持っています。

●●●他地域の同世代が関わるって●●●

一緒に集うことで、新しい出会いが始まります。スキルアップのための研修も、杜の子まつりに参加する達人たちを講師に毎年ずっと続けてきました。一緒にいることで気づけなかったことや分からなかったこと、同世代同士からヒ

ントを得ることがあります。世界が広がると別の考え方に会おうことだってあります。相手や異なる環境に思いを馳せることに繋がりますよね。そして何より、みんなで築き上げ達成感を味わった仲間の存在は、各々の自己肯定感を高め、次の活動への意気込みに繋がっていくと思います。

●●●なぜ、大切なのか●●●

杜の子まつりに参加する子どもたちにとって、ジュニアリーダーと一緒に過ごす時間は半日もありませんが、緊張するのも束の間、すぐに持ち前のノリでお互いの距離間を縮めていきます。ジュニアリーダーのスゴイところは、思いつき子どもの中に入っていけるところにあるのだと思います。子どもたちも自分たちのことを理解してくれると直感できるからなのでしょう。お互いによそ行きではなく、「ちょっと先輩」のお兄さん&お姉さんといった感じで子どもたちは遊んでいます。大人にはない親近感があり、子どもたちにとって肩の力を抜くことが出来る存在ですね。

また昨今の子どもの取り巻く状況は、核家族傾向やコミュニケーション

シヨン力の低下等が依然あり、異年齢の子どもたちが集う場も乏しい傾向が続いています。小学生にとっても、中高生と身近に接するチャンスも少ないです。かつて遊びの伝承は、先輩の行動を見て後輩が受け継いでいったように記憶しています。「子どもは子どもの中で育つ」ということを異年齢の子どもたちが集う場で実践していくことが大切です。そこにはジュニアリーダー等ちょっと先輩たちの若い力がとても有効であると思うのです。

大人は子どもを尊重すると言いながら、どうしても子どもにしてあげる傾向になりがちです。杜の子まつりで子どもたちと一緒に



▶ジュニアリーダーと何して遊ぶ？

なつて遊ぶ姿から、ジュニアリーダーと大人は一緒に子ども支援をしていくパートナーであることを気づかせて貰いました。

●●●活躍の場がもっと広がればいいなあ！●●●

ジュニアリーダー活動の中心は、子ども会や児童館からの要請が大部分を占めています。もっと社会と繋がって活動できないものだろうか：と、彼らの存在がもったいないのです。ジュニアリーダーの活動範囲が広がることで、本人たちの社会参画機会が増え将来の自分づくりの糧となる、地域社会の担い手として貢献できる、異年齢の子どもたち同士の接点が増える、遊びの継承が出来るのだと思うのです。NPOと社会がコラボして、ジュニアリーダーへのオフアールをしていくのもいいですね。

来年三月には「杜の子まつりin仙台」があります。ジュニアリーダーの皆さん、またよろしくね！

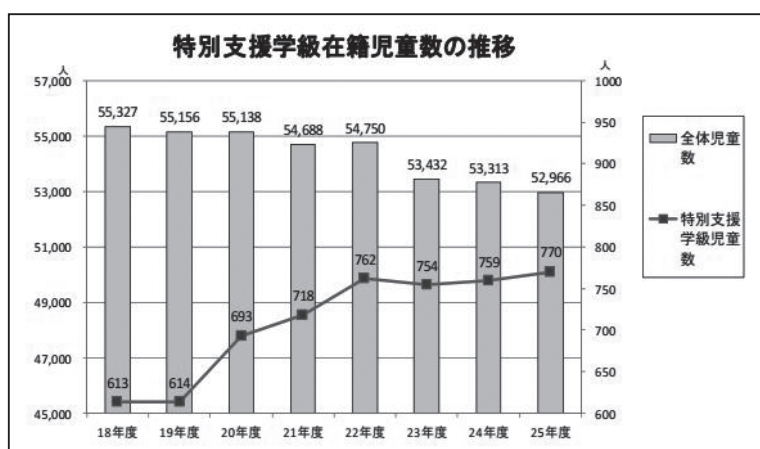
NPO法人せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
●TEL/FAX：022-375-3548
●E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
●URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

放課後、自分を表現しよう -絵を描いたり、粘土で形を作ったり-

NPO法人ぞうさんの家

▶第4期仙台市障害福祉計画(平成27年
(29年度)より



小学・中学・高校生の子もたちには、学校生活以外の放課後を過ごす場として、それぞれの家庭はもちろん、児童館や日々の習い事など、様々な居場所があります。そこでの経験や人との出会いを通して、日々成長していきます。

働く親にとって心配な放課後を託している放課後児童クラブ。登録している児童数は、現在、仙台市内で八、九一六人にのぼります。(厚生労働省平成二十七年調査)

一方、知的・情緒・発達障がいなどの障がいがある子どもたちは

●●● 造型活動とともに ●●●

「放課後等デイサービス」を行う事業所(居場所)で過ごすことが多く、東日本大震災以降、少しずつ減少している仙台市全体児童数に対して、特別支援学級に在籍する児童数は増加傾向にあり、放課後の居場所がますます必要とされています。仙台市内には、今年の八月で九十五ヶ所の事業所ができています。

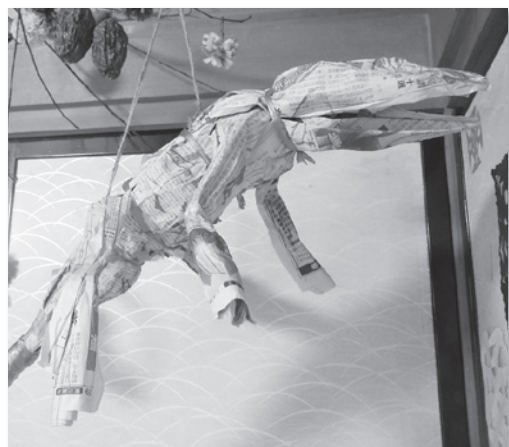
放課後等デイサービスは、平成二十四年四月に児童福祉法で定められました。障がいがある小学生・中学生・高校生を中心に、放課後や夏休みなどの長期休暇期間に利用する居場所です。

学校や家庭とは異なる場所で、様々な世代との交流、創作のほか、一人ひとりに合わせた支援を行っています。

それぞれの事業所は、社会福祉法人やNPO法人、企業など多様な形態ですが、一人ひとりの子どもたちのために考えて日々活動しています。

中には、放課後の時間を造型活動という分野に特化して、ものづくりや絵画あそびを通して、「豊かにゆつくりと過ごすしてほしい」

▶作品であふれる「ぞうさんの家」



をテーマにした放課後等デイサービスをを行っているNPO法人ぞうさんの家があります。

●●● 表現に障がいは関係ない ●●●

ぞうさんの家が生まれたきっかけは、理事長である木村秀三さんが退職後に、教師をしていた当時から取り組んでいた陶芸を活かし、陶芸アトリエ「やきものぞうさん」を開設したことから始まりました。障がいのある人もない人も一緒に親子で陶芸を楽しむ「ファミリーにここクラブ」を開設し、その活動を通して、木村さんは、「表現には障がいの有無は関係がない」ことを痛感しました。そこで自分たちの強みである創作活動を活かし、学校で頑張っ

▶ 思い思いに絵を描く



子どもたちの「したい」を引き出す

職員には、木村さんをはじめ、障がいのある方々と接してきた経験を持つ村上としみさん、そして障がいのある子どもたちに絵画指導や表現の場をつくっている「ぼーだれすアートくらぶBAC せんだい」のメンバーも支援員として加わり、子どもたちの日々の活動をサポートしています。

ぞうさんの家が子どもたちに行

うサポートで大切にしていることは、「子どもの楽しい空間をつくること」です。創作活動を日々プログラム化し、子どもたちに強制して何かを製作させるのではなく、子どもたちから思い思いに「したい」と思うことを聞き取り、その活動をしています。

「子どもたちは、学校で十分勉強し、集団での活動をしてきたはず。時には注意されることもあるでしょう。そのうえ放課後まで大人から『これをしなさい』と言われる続けたら、疲れてしまう。そんな場所に来たいと思わないのではと感じて。この場所では、表現活動を通して子どもたち一人ひとりの「したい」と思う気持ちを形にし、その気持ちを認めることで少しずつ自己肯定感を高めていきたい」と木村さんは語ります。

粘土や段ボールを使って遊んだり、イラストを描くなど、その日によって、子どもたちの「したい」ことは変わるため、一日一日が真剣勝負だと話す村上さん。

この夏、子どもたちが日々製作した作品を「みんないっしょの作品展」と題し、障がいの有無、老若男女の違いを超え展示・鑑賞する場を設けました。参加者からは、「他人からの評価を気にせず作っ

◀ 作品展に展示した「大きな靴」



た、のびのびとした作品」といった声がありました。

子どもたちに日々寄り添い、放課後を楽しく過ごし笑顔で子どもたちが帰宅することで、家族にも笑顔が広がっています。

活動を継続するため

活動当初は三名だった利用者が、現在は学校に配架したパンフレットや保護者からの口コミもあり、十六名登録し、利用しています。

ただ、子どもたちが創作活動をするためには必要な教材、道具そして、そのサポートを行うスタッフがレベルアップする研修も必要

です。

そのためには、今後必要となってくる資金のために、応援してくれる会員を増やし、寄付を募るとともに、放課後等デイサービスだけでなく、障がいがある子どもたち一人ひとりに合わせた専門的な教育支援（Ⅱ療育）プログラムや、高校卒業後の就労支援も視野に入れて展開することも期待されています。

しかし、活動は始まったばかり。木村さんは「これからやっていきたいことはたくさんあるけれど、まずは地盤を固めて、この子が笑顔になるには、どうしたらいいだろう? という原点を忘れずに、ゆっくり進んでいきたいと思っています」と語りました。

創作活動を通して子どもたちの可能性を広げ、市民にも芸術を鑑賞する際、障がいの有無は関係ないと発信する「ぞうさんの家」。これからの創作活動を通して取組みに目が離せません。

NPO法人ぞうさんの家

〒983-0803 仙台市宮城野区小田原3-4-25

●TEL/FAX : 022-355-8065

●E-mail : zousannoie@outlook.com

●URL : <http://zousannoie.jimdo.com/>

市民活動 NPO にまつわる相談は、 みやぎNPOプラザにおまかせ!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

みやぎNPOプラザ(以下、プラザ)の核となる事業の一つに、市民や市民活動団体・NPOへの相談支援があります。

世の中には様々な相談窓口がありますが、市民活動に関する相談の場合、どこに相談したらよいかわからないことはありませんか。

「市民活動って何?」といった初歩的なものから「NPO法人の役員へ給与を支給する場合に気をつけるべきことは何か?」など、組織運営に突っ込んだことまで、市民活動やNPOについてわからないこと、知りたいことがあった時は、まずプラザへ問い合わせてください。少しでも相談者の方が一歩前に進むことができるよう、お話を聞きます。

個人・団体を問わず対応

プラザの相談は、個人の方でも利用することができます。個人の方からの相談として多いのは、「こんなNPOを探している」という相談です。

「こんな症状に苦しんでいる知り合いがいる。同じような症状の人々を支援しているNPOはないだろうか?」まだ使える不要品が

ある。これを有効に活用してくれるNPOはないだろうか?」

という質問には、プラザにはこれまでマスコミで掲載されたNPOの情報やそれぞれの団体が発信してきた情報などが蓄積されているほか、最新の情報をインターネットで収集するなど、いろいろな手を尽くして対応しています。ほかにも「NPOを立ち上げた」「ボランティアがしたい」といった相談が多く寄せられています。

NPOにより専門的に

一方、NPOや市民活動団体からの相談はより実務的なものが中心となります。具体的には、所轄庁への報告の仕方、会計・税務処理、財源確保、定款変更などです。

たとえば、「決算後に発覚した前年度事業の未払金の処理方法」や「源泉徴収は誰に対しての支払いに、いくら徴収するべきか」など。これらのように会計・税務に関しても、専門知識が必要になることも多く、常に根強いニーズがあることから、プラザでは公認会計士や税理士による無料相談日を定期的に設けています。それから、

今年は法律や制度などの専門性が必要な弁護士による法律相談も実施しています。

また、平成二十四年四月に改正されたことで以前に比べ取得しやすくなった税制優遇がある認定NPO法人制度の相談も、制度の浸透にともない、寄せられる相談も増えてきています。そこでプラザでは、今年度から認定NPO法人申請相談を常設しました。

このように、市民活動・NPOに関することであれば、みやぎNPOプラザにお問い合わせください。まずはお気軽にお電話を。



▶窓口相談は予約いらず。
お気軽にどうぞ!

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

基本を押さえる!
NPOのための税金初級講座

10/21(金) 13:30~16:30

NPOのための法律相談

11/8(火) 13:00~17:00

NPOのためのマイナンバー制度と
労務管理講座&雇用なんでも相談

11/18(金) 13:30~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533
✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

2017年度 JT NPO助成事業 ～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

- 助成対象：日本国内において実施する、地域と一体となつて取り組み、地域コミュニティ再生と活性化につながる事業。(例：里山の森林保全・植林事業、地域の再生と活性化に向けたリーダー育成事業、被災地コミュニティの復旧・復興をテーマとした事業など)※詳細は、下記URL参照
- 対象団体：1年以上の活動実績と法人格を有する非営利法人
- 助成金額：1件あたり上限150万円
- 応募締切：10月20日(木)
- 連絡先：日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室
TEL：03-5572-4290
URL：<https://www.jti.co.jp/csr/contribution/social/npo/index.html>

平成28年度「元気シニア応援団体に対する助成活動」

- 助成対象：地域の高齢者を対象とした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動。
- 対象団体：民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO法人等で、所定の要件(「申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している」等)を満たす団体
※法人格を有する団体はNPO法人、一般社団法人および一般財団法人のみ対象
- 助成金額：1団体あたり上限15万円
- 応募締切：10月31日(月)当日消印有効
- 連絡先：一般社団法人生命保険協会
TEL：03-3286-2643
URL：<http://www.seiho.or.jp/>

2016年度 社会福祉事業 NPO基盤強化資金助成 「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成 「認定NPO法人取得資金」の助成

- 「組織の強化」と「事業活動の強化」の助成
 - 助成対象：団体の基盤強化に結びつく事業に必要な費用
 - 対象団体：東日本地区に所在する、社会福祉分野に関する事業を行う団体
 - 助成金額：1団体あたり上限50万円
- 「認定NPO法人取得資金」の助成
 - 助成対象：認定NPO法人取得に関する費用
 - 対象団体：社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画しているNPO法人
 - 助成金額：1団体あたり上限30万円

【共通事項】

- 応募締切：10月31日(月)17:00
※下記URL申し込みフォームから必要事項を記載し送信。
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
TEL：03-3349-9570
URL：<http://www.sjnkwf.org/>

平成29年度キリン・シルバー「力」応援事業 キリン・子育て応援事業 公募助成

【シルバー「力」応援事業】

- 助成対象：高齢者が地域のために、知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動。
- 対象団体：65歳以上のメンバーが中心となり活動する、4人以上のグループ(法人格の有無、活動年数不問)
- 応募締切：10月31日(月)当日消印有効

【キリン・子育て応援事業】

- 助成対象：地域における子育てに関わるボランティア活動。「地域」「子育て(未成年者)」「ボランティア」のキーワードに合致するもの。
- 対象団体：助成開始時に18歳以上のメンバーが4名以上で活動する団体・グループ(法人格の有無、活動年数不問)
- 応募締切：11月7日(月)当日消印有効

【共通事項】

- 助成金額：1団体あたり上限30万円
- 連絡先：公益財団法人キリン福祉財団(担当：鎌田・山形)
TEL：03-6837-7013
URL：<http://www.kirinholdings.co.jp/foundation/>

2016年度 東北ろうきん復興支援助成金制度

- 助成対象：東日本大震災以降に行っている復興・被災者支援活動
- 対象団体：東北6県に主たる事務所を有する、NPOやボランティア団体
- 助成金額：1団体あたり上限30万円
- 応募締切：11月11日(金)
- 連絡先：東北労働金庫営業推進部
復興支援助成金制度事務局(担当：菅家)
TEL：022-723-1118
URL：<http://www.tohoku-rokin.or.jp/index.html>

2017(平成29)年度年賀寄附金 -社会貢献事業への配分金-

- 助成対象：①一般枠：公益活動を行う(※)団体の福祉、人材育成、普及啓発、イベント(活動・一般プログラム/活動・チャレンジプログラム)、公益活動を行う団体の施設改修、機器購入、車両購入
②特別枠：東日本大震災及び平成28年熊本地震の被災者救助・予防(復興)
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：①社会福祉法人、更生保護法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人及びNPO法人
②営利を目的としない法人、①で記載した法人
- 助成金額：①活動・一般プログラム上限500万円
活動・チャレンジプログラム上限50万円
施設改修、機器購入、車両購入上限500万円
②上限500万円
- 応募締切：11月11日(金)当日消印有効
- 連絡先：日本郵便株式会社 総務部内 年賀寄附金事務局
URL：<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>
※年賀寄附金ホームページお問合せ用フォーマットからお問合せください。

11/5 高齢者のための「Windows10」操作講座

パソコンの「アップグレードで戸惑っている方」や「初めて買ったパソコンがWindows10だった方」を対象にご自身のパソコン持ち込みで、Windows10操作のお悩みを解決します。

- 日 時：11月5日(土)～6日(日) 全2日間 13:30～16:00
- 場 所：仙台市台原老人福祉センター2階
(仙台市青葉区台原森林公園1-3)
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：2,500円(テキスト付)
- 申込方法：下記連絡先まで、TELで申込み。申込み時、氏名、連絡先をお知らせください。
- 申込締切：10月28日(金)
- 主 催：NPO法人仙台シニアネットクラブ
- 連 絡 先：TEL：022-395-7921(平日9:30～16:30)
URL：http://www.sendai-snc.net/

11/12 「お魚がきっと好きになる料理教室」 ～親子で楽しむ!旬のお魚クッキング～

「食」の楽しさ・大切さ、一緒に体験してみませんか?

- 日 時：11月12日(土) 10:30～14:00
- 場 所：みやぎ生協幸町店 調理室
- メニュー：はらこ飯、鮭のハンバーグ、あら汁、白玉スイーツ
- 定 員：幼稚園・小学生の親子12組
- 参 加 費：1組1,500円(1人追加700円)
- 申込方法：①住所②TEL③氏名(ふりがな)④年齢⑤参加申込みイベント名を明記し、下記連絡先にハガキ・FAX・E-mailで申込み。
- 申込締切：10月31日(月)
- 主 催：食育NPO「おむすび」
- 連 絡 先：〒981-0912 仙台市青葉区堤町2-8-3 三浦勝子宛
TEL：090-4312-3025(清水)
FAX：0229-24-3436
E-mail：tomokoomusubi0222@yahoo.co.jp

11/12 STOP! DV市民講座 第2回 「デートDVに気づいたら～SNSで 広がる10代・20代の被害」

10代20代のカップル間に起こる「デートDV(ドメスティック・バイオレンス:配偶者やパートナーからの暴力)」。

インターネットの発達によって被害が見えづらくなり、リベンジポルノなどの性的被害も広がっています。まわりが気づいたときに、できることについて考えます。

- 日 時：11月12日(土) 13:30～15:30
※連続講座ではありません。1回のみの参加も可。
- 場 所：エル・ソーラ仙台(アエル28階) 大研修室
- 定 員：70名(先着順・定員になり次第締切)
- 参 加 費：無料
- 同時開催：支援者カフェ 15:45～16:30(DV被害者支援に係わる方:定員15名・要申込)
- 申込方法：TELまたはFAX、ホームページのイベント申込フォームから申込み。申込み時、お名前・「支援者カフェ」参加希望の有無・連絡先(平日の日中に連絡可能な番号)・ご所属・託児希望の方は子どもの年齢学齢を月齢までご連絡ください。
- 託 児：11月4日(金)締切(先着順・定員6名)
※託児対象は原則として、6ヶ月以上小1まで。
※託児利用料300円(お子さん1人につき)
- 主 催：仙台市
公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：エル・ソーラ仙台 相談支援課
TEL：022-268-8302 FAX：022-268-3911
URL：http://www.sendai-l.jp/

11/19 第11回情報教育シンポジウム 子どもたちのネットいじめ問題

子どもたちのネットいじめの現状の事例報告のほか、後半では会場の皆さまと一緒に実際のスマホ対策を見ながら、話し合ってみようと思います。

- 日 時：11月19日(土) 14:30～16:30(開場14:00～)
- 場 所：仙台市戦災復興記念館 4階 第1会議室
(仙台市青葉区大町2-12-1)
- コーディネーター：新沼 史智氏(NPO法人地域情報モラルネットワーク理事)
- 内 容：第1部 事例紹介 14:30～15:20
第2部 スマホ依存・脅威から子どもを守る
「まもるゾウ2」15:30～16:30
- 定 員：50名程度(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：氏名及び所属を記入して、下記アドレスにメールで申込み
- 申込締切：11月15日(火) ※定員に達し次第締切
- 主 催：NPO法人地域情報モラルネットワーク
- 連 絡 先：「情報教育シンポジウム係」
TEL/FAX：022-243-2409
E-mail：info@neuis.org

情 報 を お 待 ち し て ま す

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 掲載：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
- ※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。

問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 内 容：・基調講演
「高野誠鮮氏から学ぶ、成功する行動の法則」
講師：高野 誠鮮氏(総務省 地域力創造アドバイザー、日蓮宗 本證山妙法寺・第41世住職)
・パネルディスカッション
- 定 員：100名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで事前申込み。参加者名、団体名、連絡先をお知らせください。
- 主 催：名取市
- 企画・実施：名取市市民活動支援センター
- 連絡先：TEL：022-382-0829
URL：http://www.natori-npocenter.or.jp/

10/29 ニュージーランドでみた男女のワーク・ライフ・バランス ～キーウィハズバンドのすがたを求めて～

男女平等をすすめる国「ニュージーランド」でのホームステイを通して実感した「仕事と生活の調和」を可能にしている社会環境について、講師からお話いただきます。何を優先するか、どう生きていくかという人生観を考える機会に、ぜひお越しください。

- 日 時：10月29日(土) 13:30～15:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室
(仙台市青葉区中央1-3-1 アエル28階)
- 参 加 費：300円
- 申込方法：事前申込不要
※託児(無料)有。利用する場合、できるだけ事前にお申込みください。
- 主 催：21世紀をひらくみやぎ女性のつどい
- 連絡先：TEL：022-266-1028(担当：服部)
TEL：022-229-1524(担当：天野)

10/30 発達障害者が暮らす「住まい」を考える ～みんなで学び・考える～

発達支援ひろがりネットは宮城県の発達障害に関わる当事者、保護者の視点からの支援を考えるネットワークです。毎年開催している支援情報交換会の今年度のテーマは、「住まい」です。みなさんと一緒に「住まい」について考えたいと思います。どなたでも参加いただけます。

- 日 時：10月30日(日) 13:00～15:30
※質疑含 (開場12:30)
- 場 所：仙台市福祉プラザ 11階 第一研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 講 師：植村 暢子氏(NPO法人煌の会)
黒澤 哲氏(NPO法人自閉症ピアリンクセンターここねっと)
佐藤 裕信氏(NPO法人グループゆう)
- コーディネーター：川越 聡一郎氏(宮城県保健福祉部障害福祉課主任主査)
- 参 加 費：500円 ※当日お支払いください
- 定 員：60名
- 申込方法：事前申込み不要・当日受付
- 主 催：発達支援ひろがりネット
- 連絡先：〒980-9811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター LC.117
E-mail：hirogare@hotmail.co.jp
URL：http://blog.canpan.info/haxtutatusien/

10/30 2016年自閉症・発達障害支援セミナー 「その人らしさを育む支援」

実践例から学ぶ特性に合った関わり方

一目見ただけでは、どんなことで困っているのか分かりにくいことも多い子どもたち。ついつい、発達障害の特性を置き去りにして、一般的な声かけや関わり方が多くなっていませんか？支援の実践例を知り、子どもの行動の客観的な理解の仕方を学び、普段の支援に活かしましょう。

- 日 時：10月30日(日) 10:00～12:00(開場9:30)
- 場 所：エル・パーク仙台 セミナーホール1・2
(仙台市青葉区一番町4-11-1 仙台三越定禅寺通り館)
- 講 師：辻井 正次氏(中京大学現代社会学部教授、NPO 法人アスペ・エルデの会 統括ディレクター)
- 定 員：100名
- 参 加 費：みやぎ発達障害サポートネット会員:無料
上記以外の方:3,000円
お申込み受付後、1週間以内を目途に参加費を下記の指定口座へお振り込みください。
七十七銀行 名掛丁支店
(しちじゅうしちぎんこうなかけちょうしてん)
普通口座 口座番号:6020798
名義：特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネット
※準備の都合上、ご入金後の返金はいたしません。
- 申込方法：下記連絡先に必要事項(受講者名、連絡先、ご所属等)を、TEL・FAX・E-mailにてお知らせください。E-mailの場合、件名に「辻井先生セミナー申込み」と明記。
- 主 催：認定NPO法人みやぎ発達障害サポートネット
- 連絡先：TEL：022-265-5581 FAX：022-352-7088
E-mail：mddsnet@yahoo.co.jp

11/3 マチノフWEEK まちづくりのアイディア広場「触れる」「交わる」「考える」

仙台では社会の課題を解決したり、地域を元気にするため多種多様なアクションが展開されています。今回、仙台などで生まれているまちづくりのアイディアを4日間にわたりご紹介します。多彩なアイディアに「触れて」、思いや価値観と「交わり」ながら、人と地域を「考える」場に、ぜひお越しください。

- 日 時：11月3日(木・祝)～6日(日)
平日9:00～22:00 日・祝9:00～18:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：詳細は、下記URLからご確認ください。
- 参 加 費：無料
- 申込方法：仙台市市民活動サポートセンターホームページ内「申込みフォーム」からお申込みください。
※窓口・TEL・FAXでも受付いたします。
- 主 催：仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)
- 連絡先：TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp
URL：http://sapo-sen.jp/

しめるイベント盛りだくさん！ぜひお越しください。
※子育て応援フェスティバルIX当日運営ボランティアも募集中！連絡先までお問合せください。

- 日 時：10月23日(日) 11:00～17:00
- 場 所：エル・パーク仙台(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館))
- 内 容：かえっこばさー
(おもちゃコーナーと体験ブース)
人形劇団ブーク「ねずみくんのチョッキ」&
「スカートのファンタジー」
「わんぱく寄席」落語や紙切り等
- 参加費：無料
- 主催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

10/24 平成28年度 消費者市民講座 第7回「スマートフォン安全教室」

～生活に役立つ使い方とネットトラブルの予防など～

消費者市民講座は、専門家のお話や体験などを通じて日常生活でのトラブル解消など、賢い消費者になるための講座です。お問い合わせの上ご参加下さい。

- 日 時：10月24日(月) 13:30～15:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 3階 研修室2
- 講師：NTTドコモインストラクター
- 定 員：20人程度(先着順)
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・郵送・E-mailのいずれかで申込み。郵送やE-mailで申込みの際は、消費者市民講座申込書と明記し、氏名、住所、TEL(携帯)、FAX、E-mail、参加希望の講座名をお知らせください。
- 主催：NPO法人仙台・みやぎ消費者支援ネット
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター7階
レターケースLC.86
TEL/FAX：022-265-9469
E-mail：semicos-net@cosmos.ocn.jp
URL：http://semicos-net.sakura.ne.jp/

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

10/29 NPOいちから塾 NPOの基本を楽しく学ぼう！

「NPOってなに?」「たがさぼってどんなところ?」「どんな活動をしているの?」「地域のために活動したい…」地域のために何かをしたいという方や、NPOについて学びたい方はぜひご参加ください。これからの活動のヒントにしてみませんか?

- 日 時：10月29日(土) 13:00～15:00(受付12:30～)
- 場 所：多賀城市市民活動サポートセンター(たがさぼ) 3階 301会議室
- 講師：たがさぼスタッフ
- 内 容：*NPOの成り立ちやその仕組みがわかる！
*NPOの活動をのぞいてみよう！
*たがさぼを上手に活用しよう！
- 定 員：10名(先着順・要事前申込)
- 参加費：無料
- 申込方法：氏名(ふりがな)、年代、住所、TEL、FAX、E-mail、NPOについて具体的に聞きたいこと、知りたいことを明記の上、下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み。
- 主催：多賀城市(多賀城市市民活動サポートセンター)
- 企画・実施：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
(文化センター北隣)
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
URL：http://www.tagasapo.org/

10/29 なとセン市民活動フォーラム 「可能性へのチャレンジ！」

このフォーラムは、たくさんの方に市民活動を知ってもらい、よりよい地域づくりへの参加を呼びかける年に一度のスペシャルイベントです。ドラマ「ナポレオンの村」のモデルの高野誠鮮さんをお招きし、地域おこしに自ら果敢にチャレンジし、それを実行する行動力、既存概念にとらわれない発想力、画期的な試みを次々と実践していった背景のすべてを語っていただきます。

- 日 時：10月29日(土) 13:30～17:00
- 場 所：名取市市民活動支援センター(名取市大手町5-6-1)

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。下記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

宮城県等所轄において、2016年8月11日～9月10日までに
NPO法人の設立を新しく申請した団体はありません。

NPO法人に認証された団体		宮城県等所轄分8月11日～9月10日 仙台市所轄分8月11日～9月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
ユナイテッド石巻 サッカークラブ	石巻市	地域住民に対し、サッカー教室を中心とした各種スポーツの振興に関する事業やイベントにより世代を超えた親睦と健康づくりを図るとともに、地域活性化や青少年健全育成等に寄与する。	9/1
Cloud Japan	気仙沼市	社会企業家及びその関係者に対し協力の輪が多次元に重なり合う仕組みを作ることにより、世界中の人が誰かのための何かをする喜びを楽しみ続けることができる世の中づくりに寄与する。	9/1
J-PAL	泉区	カントリーラインダンスの普及を目的とした事業 仙台市内および近郊で開催されるお祭りや各種イベントへの参加、インストラクターの技術向上を目的とした事業他	8/24

宮城県のNPO法人数

809

●宮城県等所轄：393団体 ●仙台市所轄：416団体
※2016年9月10日現在

【宮城県 認定】新たに認定NPO法人を取得した団体

●NPO法人みやぎ身体障害者サポートクラブ(栗原市)

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。
認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

わり合い方について、たくさんのヒントとアイディアが詰まったセミナーです！

- 日 時：①セミナー 10月14日(金) 18:30～20:45
②ワークショップ
10月15日(土)～10月17日(月) 3日間
10:00～18:00
※最終日は仙台市内施設にてパフォーマンスの
実践を予定。終了時間変更の可能性有
- 場 所：①宮城野区中央市民センター 第一会議室
②10月15日、16日
宮城野コミュニティセンター
10月17日せんだい演劇工房10-BOX box3
- 対 象：俳優、舞踊家、音楽家、研究者、教員、特別支
援教育従事者、コミュニティワーカー、施設職
員など、楽器・美術の出来る方大歓迎。
- 参 加 費：①一般 1,000円
障害者手帳をお持ちの方・学生 500円
②12,000円(3日間)
- 定 員：①60名 ②24名
- 申込方法：下記E-mailまで件名を「オイリーカート申込み」
とした上で、氏名、参加希望(①あるいは②)、
連絡先を送信。
- 主 催：NPO法人シアタープランニングネットワーク
- 連 絡 先：NPO法人アートワークショップすんぷちょ
TEL：070-5017-5904
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

10/15 社会を変えるプロフェッショナルを生み出す 准認定ファンドレイザー必修研修

社会課題を解決するためにNPO・社会起業家と、社会貢献
に関心のある7割の日本人をつなぐ「ファンドレイザー」に期
待が高まっています。この研修では、組織の成長戦略、寄付・
会費・助成金を得るための戦略や基本スキルを学びます。

- 日 時：10月15日(土) 10:00～17:00(開場9:30)
- 場 所：STANDARD会議室仙台一番町 6階 A会議室
(仙台市青葉区一番町2-5-1 大野村ビル6階)
- 参 加 費：日本ファンドレイジング協会会員10,800円
非会員16,200円
- 定 員：30名(先着順)
- 申込方法：下記URLから事前申込み(定員に達し次第締切)
- 主 催：日本ファンドレイジング協会
- 連 絡 先：TEL：03-6809-2590 FAX：03-6809-2591
E-mail：cfr@jfra.jp
URL：http://jfra.jp/event/7393

10/16 「社会的孤立」や「制度のはざま」を考えるセミナー いま、なぜ「つながれる場」と「緊急時 の一時生活の場」が必要か？

地域に暮らしているどんな人でも、「生きづらさ」や、環境の
変化により周囲の人から孤立してしまうことがあります。そ
んな時、適切な支援を受けるのが望ましいのですが、制度・
サービスの縦割りによる支援の「はざま」により、支援からこ
ぼれ落ちてしまう人たちがいることが現実です。今回は、こ
の問題に取り組む実践をもとに、今後の支援を考えます。

- 日 時：10月16日(日) 13:00～17:00
- 場 所：仙都会館 8階 会議室(仙台市青葉区中央2-2-10)

- 定 員：100人
- 参 加 費：1,000円
- 申込方法：下記URL内「メールフォーム」から申込み
http://www.clc-japan.com/events/detail/6288
- 主 催：NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)
- 連 絡 先：〒981-0932 仙台市青葉区木町16-30
シンエイ木町ビル1階
TEL：022-727-8730 FAX：022-727-8737

10/19 デジタルカメラ教室 初級編・中級編

プロのカメラマンが皆さんのレベルに合わせて、カメラ操作基
本、光のとらえ方、構図についてなどお教えます。

- 日 時：①初級編 10月19日(水) 18:00～20:00
②中級編 10月22日(土) 13:00～16:00
※連続講座ではありません。
ご希望の講座を選択ください。
- 場 所：メディアデザイン「ワークスタジオ」
(仙台市青葉区木町通1-1-11 朝日プラザ北一番丁1階)
- 講 師：庄子 隆氏(フォトグラファー)
- 参 加 費：①2,000円 ②3,000円
- 定 員：各回5名
- 持 ち 物：デジタルカメラ(コンパクト・一眼・ミラーレス
問わず、スマホ不可)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mail または下記申込み
フォームに、氏名、連絡先(TEL/E-mail)をご
記入のうえ受講する講座の日程を記載し、申込み。
【申込フォーム】http://mediadesign.jp/
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-224-5308
E-mail：sendai@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/2016/10/22/

10/22 市民による就学相談会

就学期を迎えた子どもたちのご家族の皆さん、お子さんの就
学について不安をもっていないですか。障がいのあるお子さん
を普通学級に入れるというのは、やっぱり勇気がいりますよ
ね。就学に際しての不安や心配をお聞きして、一緒に解決の
方向を見つけましょう。お気軽にご参加ください。

- 日 時：10月22日(土) 13:30～16:00
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 4階 研修室3
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：障がいのある子どもたちを普通学級に通わせた
実際の経験を持つ教師や親たちが、教育委員会
とは別に就学相談会を行います。
- 参 加 費：無料
- そ の 他：子ども連れでも結構です。現在就学中で、不安
やお悩みを抱えていらっしゃる方も、ぜひお話
をしいらしてください。
- 主 催：共育を考える会
- 連 絡 先：TEL(昼)：022-299-1279(コッペ内)
TEL(夜)：022-294-6206(飯嶋)
E-mail：hak58670@rio.odn.ne.jp

10/23 子育て応援フェスティバルIX

「かえっこバザール」、人形劇やわんぱく寄席など、親子で楽

お知らせ

第12回 日本パートナーシップ大賞 社会にインパクトを与えた特色ある協働事業を表彰します

企業との協働に取り組み、地域や社会を動かしている全国のNPOやCSRの一環としてNPOとの協働を推進している企業の皆さん、ぜひ応募ください！

- 募集期間：9月1日(木)～10月31日(月) 17:00必着
- 表彰：○グランプリ：NPOに記念盾と副賞30万円(または「プロによるPR動画制作」のどちらかを選択)、企業等には記念盾を贈呈。
○優秀賞：NPOに記念盾と副賞10万円、企業等には記念盾を贈呈。
○入賞：NPOに記念盾と副賞5万円、企業等には記念盾を贈呈。
○その他特別賞
- 対象事業：日本に所在する非営利組織(法人格不問)、と企業の協働事業。そして、その協働に行政・大学等多様な主体が関わった協働事業も可。
- 応募条件：応募時点で継続中または事業終了後1年以内のもの。自薦または第三者による推薦。ただし、いずれもNPOおよび企業双方の了解が得られていること。
※他、詳細については下記URL参照
- 応募・審査費：1件につき50,000円
振込先は、下記URL参照
- 応募方法：応募用紙を下記URLからダウンロードし、応募書類を連絡先までE-mailで送信。
応募・審査費を指定口座へお振込みください。
- 主催：NPO法人パートナーシップ・サポートセンター
- 連絡先：「第12回日本パートナーシップ大賞」募集係
TEL：052-762-0401
E-mail：oubo@psc.or.jp
URL：http://www.psc.or.jp/

事業案内

あなたのココロとカラダを満腹に 洋食厨房 オリーブの杜 オープン！

お母さんが家族に作るような食事をコンセプトに、手作りで心と身体に優しい料理をご用意して、お待ちしております！

- 営業時間：7:00～14:00(ラストオーダー 13:30)

- 定休日：日曜日、祝日、休市日など
- 場所：仙台市若林区卸町4-3-1
仙台市中央卸売市場 中央棟2階
(無料駐車場有 ※正門入口バスプール内)
- メニュー：牛タン定食 1,300円、本日のカレー 650円
ワンコインモーニング 500円、
ランチメニュー、期間限定メニュー、
ドリンク200円など
- 運営主体：NPO法人シャロームの会
- 連絡先：TEL：022-352-1020
URL：http://www.sharome.net/npo/

イベント

10/1 あなたの心に寄りそう傾聴サロン 10月～12月

誰かとゆっくり話がしたい、悩みを聞いてほしい、あなたの不安や悩み、誰にも言えない心の内を話にきませんか。当会のカウンセラーが個別に対応しますので、被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務遵守、プライバシーは守ります)

- 日時場所：時間すべて10:00～15:00
◆10月1日(土)、11月5日(土)、12月3日(土)
仙台市福祉プラザ
◆10月16日(日)、11月20日(日)、12月18日(日)
名取市市民活動支援センター
◆10月19日(水)、11月16日(水)、12月21日(水)
岩沼市総合福祉センター いあいプラザ
◆10月23日(日)、11月27日(日)、12月未定
塩竈市公民館本町分室
- 参加費：無料(要予約)
- 電話相談：電話での傾聴も実施しています。
毎週火・木・土曜日 9:00～17:00
専用電話：080-3199-4481
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaieicho.web.fc2.com/

10/14 インクルーシブ・シアターワークショップ&セミナーin仙台 ～老舗英国劇団オイリーカートに学ぶ、 東北の子どもたちへ、演劇の贈り物～

英国で30年以上にわたり、五感を刺激し、ワクワク、ドキドキがいっぱい詰め込まれた優しい演劇体験を提供してきた「劇団オイリーカート」。多様な子どもや障がい児・者との関

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2016.9.16現在) 敬称略

●正会員 50名

<仙台市> ●石澤圭太

●賛助会員 101名

会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	一口 3,000円
賛助会員NPO	一口 5,000円
賛助会員企業・団体	一口 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

9月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

第15回仙台ゴスペル・フェスティバルボランティア募集

今年で15回目を迎える『仙台ゴスペル・フェスティバル』。ゴスペルを中心にあらゆるジャンルの歌声が集まる市民音楽祭です。当日、私たちと一緒に活動するボランティアを募集しています。

- 日時：11月5日(土) 11:00～19:00
- 場所：仙台市商店街他 全12会場。その他特設事務局等
- 出演：全国から公募する歌唱グループ、100組
総勢1,000名(予定)
- 申込方法：下記E-mailまで申込み
- 主催：第15回仙台ゴスペル・フェスティバル実行委員会
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター内
レターケース LC.157
TEL：070-1148-0015 FAX：020-4666-7886
E-mail：gosfes.volu@gmail.com
URL：http://www.gosfes.org/

野菜を運んでくださるボランティア募集

当団体は、経済的困難を抱えた小学生が「学習支援・食育・体験プログラム」を通し、心豊かに過ごす「放課後の居場所」を運営しています。協力先の農場から野菜をいただき、活動場所まで車で運んでくださるボランティアの方を募集しています！

- 活動日時：週1回～隔週(火曜日もしくは金曜日)15:00～16:00
※活動日については、ご相談ください。
- 活動場所：仙台市宮城野区
- 活動内容：農場様から野菜をいただき、活動場所まで車で運搬
※運搬にはご自分のお車をお使いいただきます
(ご不明な点は、お問合せください)
- 申込方法：下記連絡先まで、E-mailまたはTELで問合せ
- 応募主体：NPO法人STORIA

- 連絡先：担当：松井
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-12-55
NAVISビル1階
TEL：080-3335-3828(平日10:00～18:00)
E-mail：info@storia.or.jp
URL：http://www.storia.or.jp/

ママパパライン仙台

電話受け手ボランティア募集&養成講座

ママパパラインは2004年に始まり、ママやパパたちが、子育ての悩みや不安な気持ちを聴いてもらい、受け止めてもらうことで、安定した気持ちを取り戻し、前向きに子育てや人間関係作りに取り組みめるようになることを目指しています。全養成講座受講後、スーパーバイザーによる審査を受け、活動していただきます。

- 日時：①10月30日(日) 10:15～15:30
②11月13日(日) 10:30～15:30
③11月20日(日) 10:30～16:30
- 場所：日立システムズホール仙台(青年文化センター：仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)研修室1
- 内容：①傾聴ボランティアをする上での心得、傾聴のための自己理解
②母親たちをとりまく現状と子育て支援、子どもの共感性を育てる親支援
③発達障害の理解と支援、傾聴の基本とロールプレイ
- 定員：20名
- 参加費：電話受け手ボランティア希望者2,500円(全講座資料代等)
一般聴講希望者 1講座600円
- 申込方法：下記連絡先まで、電話受け手ボランティア希望か、一般聴講希望(希望受講講座番号)かを記載し、氏名、年齢、住所、連絡先をご記入の上、FAX・E-mailにて申込み
- 申込締切：10月24日(月)
- 主催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548

平成28年度仙台市NPO法人組織基盤安定化事業

NPO法人運営力向上セミナー&相談会

一組織の基盤を整える7つのこと

NPO法人の組織運営力の向上を目的とした様々なセミナーと専門家による相談会を開催します。広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう！

【主催】認定NPO法人杜の伝言板ゆるる・仙台市

お問合せ 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

仙台市宮城野区榴岡3-11-6コーポラス島田B6 ●TEL:022-791-9323 ●FAX:022-791-9327
●E-mail:npo@yururu.com ●URL:https://www.yururu.com/

10月のセミナー

『ボランティア力』引き出しセミナー

ボランティアの存在は、NPOと市民や地域をつなぐ重要な役割を持っています。「もっとボランティアを集めたい」「継続して、活動に関わってもらいたい」「やりがいのあるボランティア・プログラムとは？」など、ボランティアの力を活かすNPOの人材育成について学びます。

【講師】大久保 朝江(認定NPO法人杜の伝言板ゆるる 代表理事)
【開催日時】10月25日(火)14:00～16:00
【定員】20団体 【参加費】800円(税込)
【会場】仙台市青葉区中央市民センター第2会議室(仙台市青葉区一番町2丁目1-4)

10月の会計・税務個別相談会

【開催日時】10月31日(月)
①13:00～14:00 ②14:10～15:10 ③15:15～16:15
【定員】3団体 【相談担当】岡田 実さん(税理士) 【参加費】無料
【会場】仙台市市民活動サポートセンター 研修室1(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)



「月刊杜の伝言板ゆるる」 発刊20周年を 応援してください!

クラウドファンディング

READYFOR

に挑戦します!



「月刊杜の伝言板ゆるる」は、来年5月で20周年を迎えます。これまで、多様な活動をする市民活動団体の紹介を続け、震災の時も休まず発行を続けてきました。

今回、創刊20周年号に向けて、継続して発行していくために寄付を呼び掛けるとともに、情報誌を読んでいた皆様からの「これまで」の声と、今後の発行に向けての「これから」の声をお聞きしたい!と「READYFOR」にチャレンジします。

「月刊杜の伝言板ゆるる」が新たな道を歩むために、多くの皆さまからのメッセージと応援をお待ちしています!

READYFOR

創刊20周年! NPOを応援する
市民活動情報誌を継続発刊したい

【目標金額】400,000円

【期 間】2016年10月17日(月)~11月16日(水)

【U R L】<https://readyfor.jp/projects/yururu>

※杜の伝言板ゆるるは「認定NPO法人」です。
ご寄付をいただいた皆様には、税制上の優遇措置が受けられます。

2016年度 みやぎ社会貢献大賞 みやぎ小さな活動大賞

募集期間
2016年9月10日~11月10日

この賞は、社会福祉のため、公共の利益のために力を惜まず活動をしている団体へ、これまでのねぎらいと、これからの期待をこめてその功績を讃え、お贈りするものです。

応募資格・条件・賞金

- 「みやぎ社会貢献大賞」100万円(原則1団体) ノミネート賞2万円(第一次審査通過団体)
宮城県内において、概ね5年以上、福祉・教育・環境・文化・国際交流などの分野で公益的な活動をしている団体
- 「みやぎ小さな活動大賞」20万円(原則1団体) ノミネート賞2万円(第一次審査通過団体)
宮城県内において、活動内容が小さく限定的でも地道にきめ細かく地域社会に貢献している団体

応募方法

当団体ホームページから応募書類をダウンロードし、必要事項を記入の上、団体規約(定款)総会資料(役員名簿・決算書含む)、過去5年間の活動実績をまとめたもの、およびパンフレット等を添付の上、11月10日(木)までに、当財団へ郵送。

応募締切 2016年11月10日(木)当日消印有効

2016年度「みやぎ社会貢献大賞」等応募説明会

- 日時:10月14日(金)13:00~14:30
- 会場:エル・ソーラ仙台(仙台市青葉区中央1-3-1アエル28階)

応募・問い合わせ先

一般財団法人愛知揆一福祉振興会

〒980-0813 仙台市青葉区米ヶ袋1-5-21

TEL:022-262-0666 FAX:022-227-1320 <http://www.aichi-fukushi.org/>

